

平成30年 9月27日
 岐阜県立飛騨高山高等学校
 国土交通省高山国道事務所

採集したバッタの種類から草地周辺の環境状況を調査します ～飛騨高山高校の生徒とのビオトープ“飛騨の森再生”の取組～

1. 概要 : 高山西IC内に設けたビオトープ“飛騨の森再生”において、平成22年度から飛騨高山高校生徒が環境学習を実施しています。
 今年度6回目の実施になる今回は、ビオトープ内において秋によく見られる昆虫類（バッタ）の捕獲調査を行い、バッタの種類を確認することで、ビオトープの草地や林縁部の環境状況について簡単な評価を行います。
 2. 日時 : 平成30年10月 1日（月）14:00～16:00
 【予備日 10月 5日（金）14:00～16:00】
 3. 場所 : 中部縦貫自動車道高山清見道路 高山西インターチェンジ内
 ビオトープ“飛騨の森再生”（高山市清見町牧ヶ洞地内）
 4. 参加者 : 岐阜県立飛騨高山高等学校 環境科学科 2年生6名
 【予備日 3年生6名】
 5. 添付資料 : 別紙1～3のとおり
 6. 配布先 : 高山記者クラブ
 7. 問合せ先 : 岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス
 環境科学科 原 康彰（はら やすあき）
 TEL 0577-33-1060
 FAX 0577-32-8994
- 国土交通省中部地方整備局 高山国道事務所
 計画課長 奥田 清典（おくだ きよのり）
 TEL 0577-36-3822
 FAX 0577-36-3801



学習内容

今年度6回目となる実習は、環境科学科2年生6名が参加して、ビオトープ内において秋によく見られる昆虫類（バッタ）の捕獲調査を行います。

平成16年11月の完成以降、平成17～21年と平成26年（整備後10年経過）に生物のモニタリング調査を行っています。高校生の実習を含めた調査により、ビオトープでは現在までに計11種のバッタが確認されています。

（日本国内では119種（平成18年時点）、岐阜県内では37種（平成18年時点））

ビオトープで秋季によく見られるバッタの例



トノサマバッタ



イナゴモドキ



ヒナバッタ



クルマバッタモドキ



コバネイナゴ

バッタとは

バッタとは、バッタ目というグループのうちバッタ亜目に該当する昆虫です。同じバッタ目には他にコオロギ亜目（キリギリスやコオロギの仲間）があります。

バッタの捕獲調査

バッタの仲間は、昆虫の中でも生態や生息環境が比較的によく知られています。海岸から高山まで幅広く生息していますが、中でも草地に生息する種が多く、種によって好む草原のタイプ（湿った場所、乾燥した場所、草丈が深い場所、地面が見える場所）が異なります。さらに樹林に適応した種もいることから、環境を指標する生物として、環境の状況を評価する材料として使われることがあります。

今回の学習では、バッタの採集方法や判別方法を学ぶとともに、確認できたバッタを用いて現在のビオトープの草地や林縁部の環境状況について、簡単な評価を行います。

一昨年度の学習状況（平成28年10月26日実施）



【バッタ類の採集状況】



【採集したバッタ類の分類】



高山西 I C ビオトープ “飛驒の森再生”

1. ビオトープ“飛驒の森再生”整備

中部縦貫自動車道高山清見道路の建設により、動植物の生息・生育環境が分断され、従来の自然環境が大きく変化する可能性がありました。そのため、インターチェンジ内を『飛驒の森再生』として位置付け、調整池の自然利用及び周辺植生の遷移促進を含めた計画をし、平成16年11月に高山清見道路（飛驒清見 I C～高山西 I C）の供用と同時にビオトープが完成しました。

さらに、平成22年7月には、飛驒高山高等学校と高山国道事務所で「維持管理に関する協定」を締結し動植物の生息・生育環境創生に取り組んでおります。



整備直後(H16. 11)



現在の生育状況(H30. 5)

2. 現在のビオトープの状況

完成してから13年が経過した調整池を含むインターチェンジ内の環境は大きく改善し、ビオトープに移植した根株・貴重植物ともに生育状況は良好です。また、周辺域から在来種も入り、ビオトープ内は調整池や植生の変化に併せて、両生類（カエル）や昆虫類（トンボやバッタ）などの定着も順調に進み、生物の多様化が進んでいます。

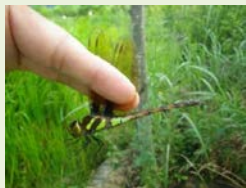
また、同校との協働による継続的な維持管理活動により、貴重な植物が繁殖又は再確認されるなど、様々な動植物の生息・生育環境が維持されています。

確認された重要種など

陸域

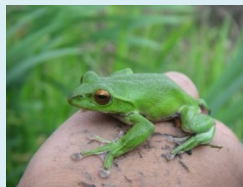


移植した重要種
(キキョウ)

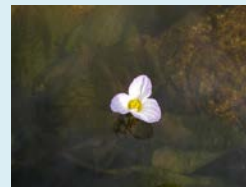


確認された重要種
(マルタンヤンマ)

水域



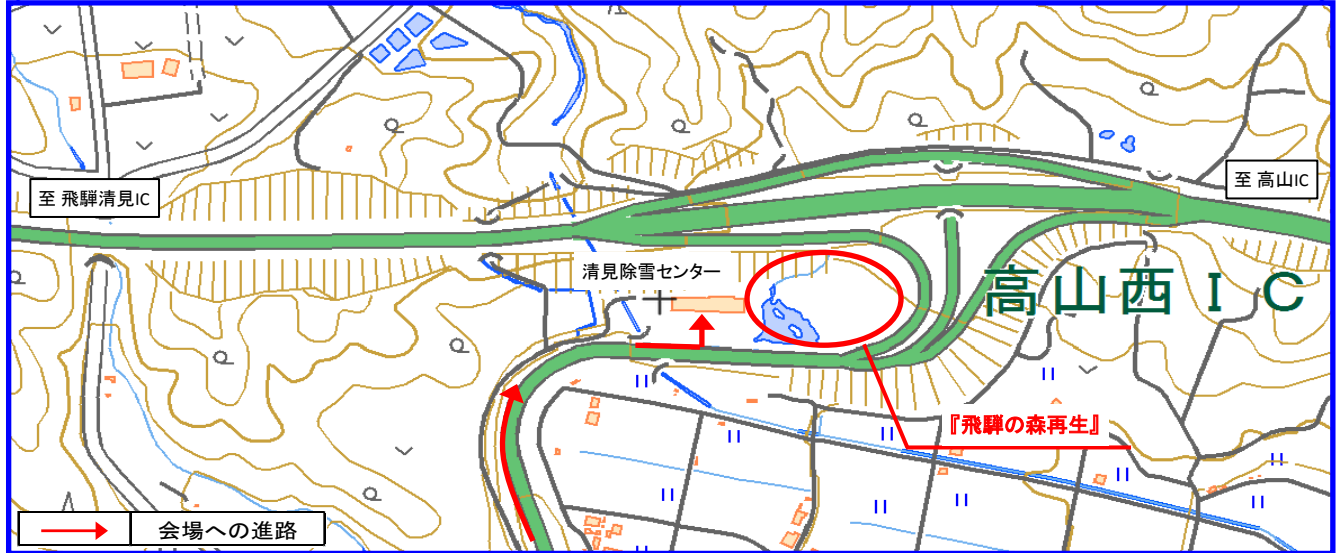
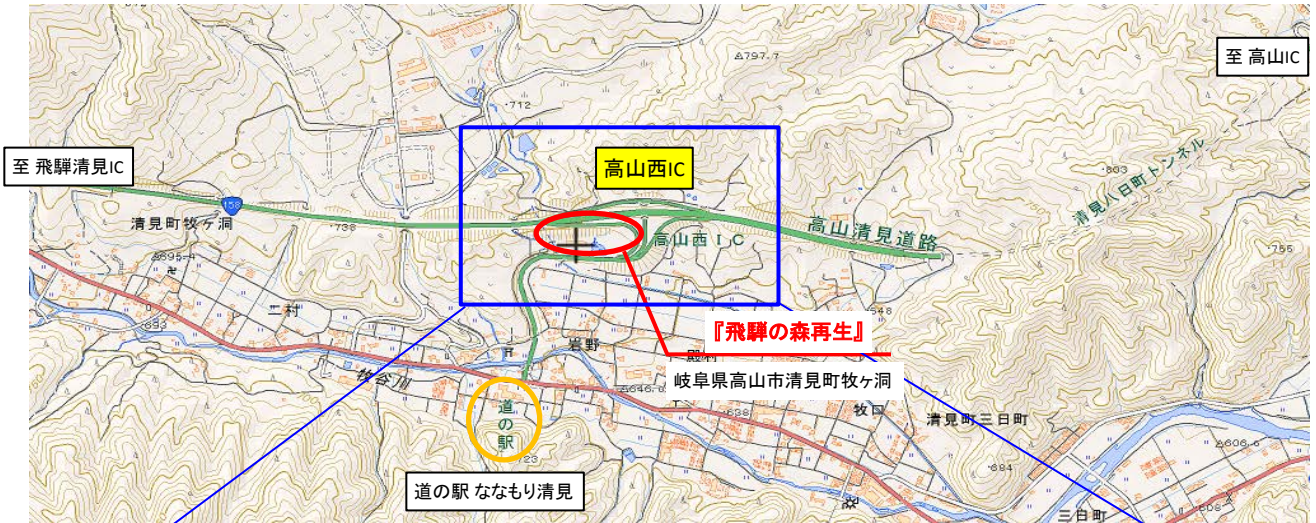
確認された重要種
(モリアオガエル)



確認された重要種
(ミズオオバコ)

環境学習 実施位置図

実施場所：高山西IC内ビオトープ「飛驒の森再生」



取材希望がございましたら清見除雪センターにお集まり下さい。